

**令和7年度第1回仙台市外郭団体経営検討委員会**  
**(令和7年7月23日開催)**  
**議事概要**

1	日 時	令和7年7月23日(水) 14:00～
2	場 所	第一委員会室(本庁舎8階)
3	出席委員	大泉裕一委員、水野由貴委員、櫻井康博委員〔計3名〕
4	欠席委員	なし
5	事務局	総務局総務部長、総務局総務部行政経営課長、総務局総務部行政経営課行政経営係長、総務局総務部行政経営課主任〔4名〕
6	所 管 課	健康福祉局保健衛生部医療政策課長、健康福祉局保健衛生部医療政策課主事、都市整備局総務課総務係長、都市整備局総務課主事、水道局総務部総務課総務係長、水道局総務部総務課総括主任〔計6名〕
7	該当団体	仙台市救急医療事業団：総務課長、総務課主任 仙台市建設公社：総務部長、総務課長、総務課経理係長 仙台市水道サービス公社：専務理事兼事務局長、総務課総務係長、総務課職員〔計8名〕
8	次 第	1. 開会 2. 議 題：外郭団体の経営状況について 3. その他
9	会議資料	・次第 ・仙台市外郭団体経営検討委員会設置要綱 ・仙台市外郭団体経営検討委員会付議要件 ・仙台市外郭団体経営検討委員会付議要件該当状況(令和6年度決算) ・仙台市外郭団体経営検討委員会付議団体令和6年度決算資料 (仙台市救急医療事業団、仙台市建設公社、仙台市水道サービス公社) ・仙台市外郭団体の経営状況の評価結果(令和5年度決算)

## 1. 開会

### 事務局(総務局総務部行政経営課長)

令和7年度第1回の仙台市外郭団体経営検討委員会を開催いたします。私は行政経営課長の神倉と申します。開会に当たりまして、仙台市総務局総務部長の上田より一言ご挨拶申し上げます。

### 事務局(総務局総務部長)

総務局総務部長の上田でございます。本日はご多忙の中、また大変暑い中、お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。本委員会は、外郭団体の経営状況の評価、そして経営改善策の策定に向けた提言をいただくことを目的として設置しております。今年度は、外郭団体25団体のうち、3団体が委員会の付議対象となっております。委員の皆様には、事前に財務諸表のご確認などもいただき、ありがとうございます。

本日は、団体からの説明もございまして、専門的な知見からご意見を賜りたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### 事務局(総務局総務部行政経営課長)

続いて、委員の皆様をご紹介します(各委員を紹介)。  
次に、事務局を紹介いたします(事務局を紹介)。

続いて、委員長等の選任に移ります。「仙台市外郭団体経営検討委員会設置要綱」の第4条に基づき、本委員会の委員長は、委員の互選により定めること、また、委員長の指名により、委員長の職務を代理する者を置くこととしております。それでははじめに、委員長を選任していただきます。委員の皆様いかがでしょうか。

#### 水野委員

これまでのご経験から、大泉委員を推薦させていただきます。

#### 事務局（総務局総務部行政経営課長）

大泉委員、いかがでしょうか。

#### 大泉委員

お引き受けします。

#### 事務局（総務局総務部行政経営課長）

大泉委員よろしくお願いたします。それでは、この後の委員長職務代理者の決定から委員長に進行をお願いいたします。

#### 大泉委員長

（委員長よりご挨拶）

それでは、要綱に基づき、委員長職務代理者を指名させていただきます。勝手ではございますが、これまでも委員を務められていた水野委員にお願いしたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### 水野委員

お引き受けします。

#### 大泉委員長

ありがとうございます。続いて、議事録署名委員については、今回は櫻井委員にお願いしたいと思います。

#### 櫻井委員

承知いたしました。

#### 大泉委員長

それでは議事に入る前に、傍聴されている方にお断りさせていただきます。本日の審議の内容においては、法人の競争上の地位を害する恐れがあるなど、公表することが妥当でない内容を含むことも想定されます。そのような場合は、委員会を非公開といたします。

その際、大変申し訳ございませんが、報道の方も含めて傍聴されている方には、退席していただくこととなります。あらかじめご了解いただき、ご協力をお願いいたします。

## 2. 議 題：外郭団体の経営状況について

### （1）仙台市救急医療事業団

#### 大泉委員長

それでは、本日の議題に入ります。各外郭団体の令和6年度決算について、付議要件に該当するか否かを事前に事務局で確認していただいた結果、3団体が該当するということです。

では、1番目の仙台市救急医療事業団につきまして、事務局及び団体から、ご説明願います。

#### 事務局（総務局総務部行政経営課長）

本日は、経営状況等に関する質疑応答の円滑化を図るために、団体所管課及び該当団体からも職員が出席しておりますので、紹介いたします（職員紹介）。

付議要件の該当理由につきましては、所管課及び団体から説明いたします。

#### 医療政策課長

仙台市救急医療事業団の令和6年度決算にかかる外郭団体検討委員会付議要件にかかる該当状況についてご説明します。令和6年4月1日から令和7年3月31日のキャッシュフロー計算書を確認したところ、当年度の事業活動によるキャッシュフローがマイナス162,471千円となっており、こちらの5倍の絶対値が現金及び現金同等物の85,628千円より大きくなっていることから当委員会に付議するものとなったものです。

当事業の事業活動のキャッシュフローのマイナスは令和5年度の診療報酬が、コロナが2類から5類に移行したことに伴い、発熱患者等の受け入れを行った結果、極端に令和5年度の診療報酬が増えた事実があり、診療報酬が増えると翌年5月に仙台市へ支払う指定管理料の清算金が非常に増えるということがあります。その結果、未払金が大幅に増加したことでキャッシュフローの令和5年と令和6年の増減が大きく生じたことが主な原因です。なお、令和5年度を除くと、キャッシュフローの大きな変動はなく現金及び現金同等物の期末残高も今年度と同様に1億円弱となっており、令和6年度の財務状況が著しく悪化したものではないと考えております。

#### 大泉委員長

今のご説明や団体の事業や計画に関して、何かご意見、ご質問等ございますか。

#### 水野委員

貸借対照表に計上される「医薬品等」について。在庫の部分で正味財産が動く傾向があるように思うが、前年度よりも今年度のほうが647万円増しているが、在庫管理の面で何か変更があったのでしょうか。

#### 救急医療事業団（総務課長）

去年の年末年始に9連休があり、その期間はほかの医療機関が閉まるので当事業団で指定管理している救急夜間診療所に患者が集中することが予想されました。そのため、医薬品を事前に多めに購入しており、結果として、昨年度と比較して在庫が若干増加した状況です。

#### 水野委員

そうすると、適正な在庫というと、前年度が適正な在庫量ということでしょうか。

#### 救急医療事業団（総務課長）

患者の集中に備えたという点では、今年度の在庫量も適正であると考えております。

#### 水野委員

承知しました。

#### 大泉委員長

私からも医薬品についてお伺いします。

令和4年度と令和5年度の間で患者数に大きな違いが見られます。令和4年度は28,000人、令和5年度は53,000人となっております。

患者数が増加すると、医薬品の在庫も増加する傾向があるのでしょうか。

#### 救急医療事業団（総務課長）

患者が多ければ在庫は減少しますが、患者が増えてくることは事前にわかるので、必要に応じて買い増しをします。そのため、患者数の増減によって在庫量が極端に変動することはないと考えております。

### 医療政策課長

患者数が増えれば医薬品の使用量も増加します。患者の増加傾向はある程度把握できますので、その都度適正な在庫となるように購入しますが、例えば先ほどご説明したように年度末の9連休などで急に患者数が増える可能性があり、医薬品をすぐに補充できないとなると、ある程度在庫量を増やすこともあり、結果として在庫が多く残ることはあります。患者数が増えれば消費量も増えるため、医薬品の在庫量に対しては患者数の増減というのはそこまで影響されるものではないと考えております。

### 水野委員

収支計算書の人件費についてお伺いします。令和6年度収支決算書の事業活動支出、事業費の給料手当支出が予算に比べて若干増加していますが、人件費に関して予算と異なる点があったのでしょうか。

### 救急医療事業団（総務課長）

予算を上回っておりますが、シフトの組み方の関係で、当初の想定よりも医師や看護師をやや多めに配置したことなどが影響している可能性があります。意図的に支出を増やしたわけはありません。

### 水野委員

昇給分などは、きちんと見込んだうえでの当初予算ということによろしいでしょうか。

### 救急医療事業団（総務課長）

はい。

### 水野委員

承知しました。

### 大泉委員長

他に何かございますか。無いようでしたら、付議された団体の評価について議論したいと思っておりますので、ここで仙台市救急医療事業団と医療政策課の皆様には退席いただきます。

それでは、配布資料中の「令和5年度の報告書」をご覧ください。最終的には今年度も同様のものをとりまとめることとなります。付議された団体の評価について、「著しく経営状況が悪化している抜本的な改善が必要な団体」か、「経営改善が必要な団体であるか、著しく経営状況が悪化しているとはいえないが、経営状況の推移に注意が必要な団体」であるか、「著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体」のどれに当たるかということを審議します。

### 櫻井委員

今回、事業団が該当したのはキャッシュフローの項目ですが、これは先ほどの説明のとおり、未払金額が生じたことによって影響を受けた指標です。通常収支の予算決算書等を見る限り、経営状況が悪化しているとは考えておりません。

### 水野委員

先ほどのコロナの影響による指定管理料の精算が影響しているということであれば、経営状況が悪化しているとは言えないと判断いたしましたので、「著しく経営状況が悪化しているとは言えない団体」と考えております。

### 大泉委員

私も、今回は指定管理料の精算が原因であり、経営状況が悪化しているとは言えないと思います。両委員のお考えのとおり、「著しく経営状況が悪化しているとは言えない団体」に該当するものでよろしいかと思っております。ほかにご意見等ございますか。

それでは、該当団体について評価結果の結論が出ましたので、あとは報告書をまとめることとなります。報告書の案については、本日の議論を踏まえ、私と事務局で調整を行った上で、委員の皆様へ送付し、ご確認いただくということによろしいでしょうか。  
(異議なし)

## (2) 仙台市建設公社

### 事務局（総務局総務部行政経営課長）

(所管課及び団体の職員紹介)

付議要件の該当理由につきましては、所管課及び団体から説明をお願いします。

### 仙台市建設公社（総務部長）

当公社が付議要件3に該当した件について説明いたします。事業活動によるキャッシュフローの増減に最も大きな影響を与えたのは未払金であり、この未払金には、仙台市からの指定管理料や受託収入の概算払いにかかる精算金のほか、事業者等へ発注した委託料が主な内容として含まれております。

そのうち、仙台市からの概算払いによる収入の取り扱いについては、年度終了時に精算処理を行い、その結果として余剰金は翌年度に仙台市へ戻入することとなっております。そのため、決算時には未払金として計上されることとなります。

令和6年度のキャッシュフローが減少しているのは、当該余剰金にかかる未払金が大きく減少したことによるもので、令和5年度の概算払いにかかる概算額と精算額との乖離が大きかったことが要因です。

このように、仙台市への精算戻入額等の未払金は毎年度変動しますが、ここまでご説明したとおり、翌年度に行う精算行為として支出する余剰金との間で相殺が予定されているものであり、未払金が少なく、事業活動キャッシュフローが減少した場合であっても、今後の経営に影響を及ぼすものではないと考えております。

### 大泉委員長

今のご説明や団体の事業や計画に関しまして、何かご意見、ご質問等ございますか。

### 水野委員

未払金が増減した理由について、令和6年度と令和5年度では状況が異なると思いますが、令和5年度の戻入について、市指定管理料への戻入金額が大きくなっているように思います。特に金額的に目立っている委託料の部分について、この金額が発生した大まかな要因があれば教えていただけますか。

### 仙台市建設公社（係長）

令和5年度において、例えば市営住宅で使用されている風呂釜の交換予定が300戸だったところ、実績は117戸となりました。さらに、台所周りの設備等の更新は250戸を予定していましたが、実績は149戸となり、委託料のみで約2億1千万円の余剰金が発生しました。

### 水野委員

当初の予定と実績が乖離した要因について、何かございますか。

### 仙台市建設公社（係長）

当初予定は市と協議したうえで300戸としました。入居者に希望をとるものであるため、例えば風呂釜交換業務については、市営住宅では風呂釜が付いておらず入居者が自ら設置していたものを、仙台市で交換する内容ですが、その希望者を募ったところ300人全員が希望するわけではなく、自分で設置した風呂釜を自ら撤去したうえで、新しいものを仙台市で設置することが条件になっていたこともあり、想定ほど希望者が増えませんでした。ただ、どれだけ希望があるかわからないため、多めに予算化し、足りなくならないようにした。希望者の中には最終的に辞退する方もおり、令和5年度は特にその傾向が強かったと認識しております。

#### 水野委員

これまで、予定と実績にここまで乖離が生じることはあまりなかったのでしょうか。

#### 仙台市建設公社（係長）

風呂釜交換については、過去にも同様の状況となったことがございます。ただし、令和5年度には台所やトイレ周りの交換業務を正式に開始しており、それについても希望者が予定より少なかったため、余剰金が増加する結果となりました。

#### 仙台市建設公社（部長）

新たに追加された業務による影響と捉えていただければと思います。令和5年度と令和6年度では業務の内容が少し変化していると認識しております。確実に事前に入居者の希望を把握するという方法もあるかと思いますが、先ほどご説明したとおり、入居者の意向は変わることがございます。予算についても、過剰に確保しているわけではなく、これまでの実績をもとに、ある程度そこから少し増やした形で予算を組んでいるという認識です。

#### 大泉委員長

他に無いようでしたら、付議された団体の評価について議論したいと思いますので、ここで仙台市建設公社と都市整備局総務課の皆様には退席いただきます  
それでは、付議された団体の評価について議論したいと思います。

#### 櫻井委員

事業費と比べて現金預金が少なめに感じましたが、固定資産の中に準備金積立資産があり、いざというときには短い決議で取り崩すことができると思いますので、キャッシュの面では特に問題はないと感じました。経営上問題があるという評価にはならないと思います。

#### 水野委員

戻入の金額が非常に多いように感じますが、市としても多いと感じていらっしゃいますか。

#### 事務局（総務局総務部長）

端的に申し上げますと、結果的には見積もりの部分で積みすぎたものと感じております。

#### 水野委員

櫻井委員と同じ意見で、キャッシュフローという事業活動に関わる部分では特に問題はないと思います。ただ、「計画を立てる」という事業の一部として、もう少し精度が高くなると、さらに良いと感じます。

#### 櫻井委員

指定管理者になるには、選定を経る必要があるのでしょうか。

#### 事務局（総務局総務部長）

公募の場合と非公募の場合がありますが、いずれにしても選定を経て指定しております。

#### 櫻井委員

そうなると、市の計画として「風呂釜をこのくらい交換したい」という方針があった場合、指定管理者である公社の判断で、その数字が変わるわけではないということでしょうか。

#### 事務局（総務局総務部長）

市と実際に運営する公社側で数の調整等を行っているものと思われませんが、今回は、結果として実績と乖離してしまったということだと思います。

#### 水野委員

年度によっても状況が変わるということもあるのかと思います。

### 事務局（総務局総務部長）

事前に入居者の希望を把握できれば、予算の精度も向上するものと思われま。す。今後は、より精度の高い予算要求となるよう努めてまいりたいと考えております。

### 大泉委員

では仙台市建設公社も1件目同様「著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体」との判断でよろしいでしょうか。

（異議なし）

他に、何か付帯的なご意見などありますでしょうか。

（意見なし）

## （3）仙台市水道サービス公社

### 事務局（総務局総務部行政経営課長）

（所管課及び団体の職員紹介）

それでは付議要件の該当理由につきましてご説明をお願いします。

### 水道局総務課（係長）

仙台市水道サービス公社では、令和6年度決算において付議要件5に該当いたしました。令和6年度末の数値を確認したところ、当期経常増減額が令和4年度がマイナス8,738千円、令和5年度がマイナス8,946千円、令和6年度がマイナス8,172千円と3期連続でマイナスとなっており、各期のいずれの比較においても20%を超えて改善が見られなかったことから付議要件5に該当することとなりました。

要因としては公益目的事業のうち給水装置工事設計図書等作成業務において受付件数の多くを占める戸建て住宅の件数について昨年度に引き続き減少していることに加え、アパートを除くほかの住宅の件数も減少していることが挙げられます。対応策としては昨年度から対応策として挙げていた設計手数料の改定を令和7年10月1日に予定しております。現在の手数料は30年以上改定されていなかったことから、社会情勢によって複雑化している設計図書作図等に必要なコストを反映することにより収益増を図るものです。なお、改定により令和7年度から令和8年度にかけて収支の改善を見込んでおります。

### 大泉委員長

今のご説明や団体の事業や計画に関しまして、何かご意見、ご質問等ございますか。

### 櫻井委員

設計手数料の改定について、昨年も適正化の話があったかと思いますが、結果的に令和7年10月まで時間がかかっているのは、どのような理由によるものでしょうか。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

まず1つは妥当な手数料の算定が必要だったことです。先ほど令和7年度、8年度に黒字化を見込んでいるとご説明しましたが、現在、水道局で設計関係業務に関して電子申請の導入を検討しており、その方向性がある程度明確になった段階で手数料の見直しを行いたいと考えておりました。しかし、その方向性が見えなかったため、若干その影響を受けたものです。また改定に当たっては理事会にて承認を得る必要があり、その後事業者等への周知期間も必要となるため、それらを考慮し、5月の理事会で承認をいただき、10月改定とした次第です。

### 櫻井委員

オンライン化が始まると、設計図書等作成業務の収益には影響があるのでしょうか。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

現在作成している設計図書と同様の内容で対応するのかどうかについて、水道局から具体的な方針が示されていないため、それによってどのような影響があるかはまだ不明な部分がございます。

### 櫻井委員

水道サービス公社は公益法人なので、公益事業を行うにあたって収支相償を目指さなければいけないというところと、制度の変更によって収入の見通しが立てづらい点でご苦労されているのではないかと感じます。ある程度の方針が見えたうえで、手数料を決定されたのでしょうか。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

令和7年度、8年度でまず黒字化を図るために一律12%の値上げを行うことといたしました。またオンライン化は水道局による市全体としてのDX化の流れの中で実施するものであり、令和8年度頃には方向性が明らかになると考えております。その時点で、改めて手数料の見直しを検討せざるを得ないと考えております。

### 水野委員

手数料については、今後改定が進められると思いますが、対策として手数料の改定だけでなく、業務全体の在り方を見直すことも検討されているかと思えます。例えば、どのような取り組みを想定されているのでしょうか。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

現在、卸町の庁舎には2つの課がありますが、その中で人員のやりくりを図り、来年度からはほぼ1つの課に統合する予定です。また、水道局OBの採用が難しくなっている中で、自衛隊OBを採用し、効率的な人員配置を図れるように取り組んでおります。

### 水野委員

オンライン化などを進めていく中で、人件費にも想定外の動きがあるのでしょうか。人件費を見てみると、前年度より増加している傾向が見受けられます。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

人件費については、もともと当公社の業務は人件費の割合が高いという特徴があります。その中で、昨年度より人件費の比率が上がっているのは、市の給与水準と連動しているためです。人事委員会の勧告により市の給与が上がると、それに伴って人件費も上昇します。昨年度はその上昇幅が大きかったため、公社の人件費も増加しました。

では、それに見合う収益があるかという点ですが、給水装置関係の業務をはじめ、ほとんどの業務は受託事業であるため、基本的には水道局や建設局から人件費に見合った金額をいただいているため、その点は問題ありません。ただし、設計図書作成等の自主事業については人件費が上がると、それに見合っただけでコストも上がってしまうため、その影響を踏まえて、再度手数料の見直しが必要になると考えております。

### 水野委員

業務費用の削減については、前年度にもお話がありましたが、現在は費用の削減よりも収益の改善に重点を置いているということでしょうか。

### 仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）

昨年度は、事業課と受水槽検査課の人員のやりくりによって人件費を削減していくとご説明しておりましたが、今後も引き続き、併任という形を取りながら対応してまいります。また、その二課には自衛隊OBが多く在籍しておりますので、人件費を案分することで、引き続き効率的な運用を図っていきたいと考えております。

### 大泉委員長

正味財産増減計算書の7ページに記載されている光熱水料費についてですが、経費削減に努めていらっしゃると思いますが、前年度に比べ1.5倍に増加しています。何か理由があるのでしょうか。

**仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）**

使用量はほとんど変わっておりません。増加の主な要因は、電気料金の値上がりによるものです。

**櫻井委員**

参考までにお伺いしますが、自衛隊OBの方を55歳くらいから採用される場合、人件費としては新卒の給与水準ではなく、経験に見合った給与を支払うことになるのでしょうか。

**仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）**

基本的にはOBとしての扱いで給与を支給しております。自衛隊の定年は55歳ですが、近年は人員不足の影響もあり、定年が延長されている状況です。給与水準としては局や市のOBと同程度です。

**櫻井委員**

それは新卒採用と比べると高い水準になるのでしょうか。

**仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）**

大卒の新卒と同じくらいの水準です。平均給与で考えると、おそらく半分程度になるかと思えます

**櫻井委員**

OBの方に高い給与を支払っているというイメージがあると、人件費の問題が重く感じられますが、そういったレベルではないということでしょうか。

**仙台市水道サービス公社（専務理事兼事務局長）**

はい。70歳まで働いていただくことを想定しており、採用後15年間勤務されることを考えると、大卒や高卒の新卒職員のように給与が年々上がっていくわけではありませんので、その点は異なると考えております。

**大泉委員長**

他に無いようでしたら、付議された団体の評価について議論したいと思しますので、ここで仙台市水道サービス公社と水道局総務課の皆様には退席いただきます。

それでは、付議された団体の評価について議論したいと思います。

**大泉委員**

昨年度から状況が変わっていないように思います。設計手数料の適正化を目指す予定とのことですが、結局まだ実行には至っていないようです。

**水野委員**

このような状況のとき、市が関与して、促進させるようなやり取りはあるのでしょうか。

**事務局（総務局総務部長）**

実際に水道局と水道サービス公社の間でどのようなやり取りがあるかは確認できておりませんが、例年このような状況が続いていることもあり、手数料の適正化については、公社も本局も同じ認識を持っていたと思います。改定時期の調整の中で、結果的にこのような時期になってしまったのではないかと考えております。

**水野委員**

昨年この話が出た際に、「来年も同じ状況になるのでは」という空気感があり、何とかしなければという話になっていたと思います。収益の確保が難しいため、費用削減や人件費の削減を進めていくという話だったと思いますが、今年も同じ話になっているように感じます。

**大泉委員**

大きな赤字が出れば、本格的な検討が始まるかもしれませんね。

### 事務局（総務局総務部長）

目先の対応だけでなく、業務の進め方も含めて検討が必要になってくるかと思えます。聞いているところでは、設計業務に関しては、戸建て住宅の件数が減少し、中高層住宅やアパートが増えている状況であり、中高層住宅は設計に時間がかかるため、その部分でいかに省力化できるか、使用料の改定とセットで進めていかなければ、慢性的に今回と同じ状況が続いてしまうと思えます。こうした認識について、公社が持っている以上に、当局としても切実に受け止めて対応する必要があると考えております。

### 櫻井委員

東京都の水道局のサービス会社は民間化されたことで自由な経営が可能になっていますが、こちらは公益法人であるため、給与計算も人事委員会の勧告があれば上げざるを得ないという、不可抗力的な経営になっている点が改善につながりにくい要因だと思います。組織の体制がそうした構造になってしまっているのではないのでしょうか。

経常赤字の金額が収益の何パーセントかと考えると、1%台程度であり、それが大きいかどうかという点もあります。この体制で運営する限り、経営努力だけではどうにもならない部分がある組織だと思います。成り立ちに起因する要因で動いてしまうということもあるかと思えます。現時点では、経営状況が非常に厳しいという認識ではありません。

### 事務局（総務局総務部長）

慢性的にこうした状況が続いていることもあり、改善とのバランスを取りながら対応していく必要があります。人件費については、公社である以上、市全体の外郭団体のあり方としても課題として捉えていかなければならないと思えますが、現時点では短期的に抜本的な見直しを行う段階には至っておりません。

### 櫻井委員

正味財産を見る限り、非常に厳しい状況ではないと思えます。現状の組織として見た場合、ピンチという評価にはならないと思えますが、今の体制を続ける限り、こうした問題は継続的に発生する懸念があるという印象です。

### 水野委員

今年度は今年度として評価すべきですが、どうしても前回の話を踏まえて今回を見てしまいます。もちろん財団ですので、財産の部分だけを見れば、ストックの面では今すぐどうこうということはありません。ただ、「経営」という観点で見ると、改善傾向はなかなか感じられなかったという印象があります。

### 櫻井委員

私は今年度から新たに委員として参加しておりますので、前回の評価にはとらわれず、現状を踏まえた形になりますが、公益法人であり、公益目的事業では収支ゼロかマイナスにするよう求められている中で、公益目的事業の経常収益が5億2千万円、その赤字分を収益事業で補おうとしても、収益事業の収益は1億6,700万円程度であり、構造的に難しい状況です。今回の経常赤字は817万円で、正味財産に対する割合は約2%です。評価結果としては「4 著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体」、もしくは「3 著しく経営状況が悪化しているとはいえないが、経営状況の推移に注意が必要な団体」に近い「4」かなと思えます。前年度からの連続性や状況の比較を考慮しなければ、現状だけ見れば「4」だと思います。

### 大泉委員長

今のストックだけを見れば「4」ということですね。水野委員は過去の状況も含めて、フローで見ると「3」という判断でしょうか。

### 水野委員

前日も同様に付議されていることから、「改善傾向が見られない」と判断されると思えます。今回の赤字幅は小さいですが、黒字にはなっておらず、昨年の経営努力の宣言もまだ目に見える形では現れていないため、数字よりも動きで見ると「4」に近い「3」だと思います。

**櫻井委員**

人事委員会の勧告による給与の上昇がなければ、黒字になっていたかもしれませんね。

**水野委員**

今回の上昇幅は確かに大きかったと思いますが、それは水道サービス公社に限ったことではありません。他の団体では経営努力によって結果を出しているところもありますので、そうした点からも経営改善の動きが見えにくいと感じます。

**櫻井委員**

先ほどの団体の説明を聞いていると、外的要因として捉えているように感じました。ただ、2千万円、3千万円の赤字であれば「注視する」という判断になるかと思いますが、収益に対する比率で見るともっと低くなります。1%台くらいでしょうか。

**大泉委員**

私としては「4」だと思います。ただ、現状としては水野委員がおっしゃるように、赤字が続いているという点はコメントとして残しておくべきだと思います。

**櫻井委員**

要綱には委員長が決定する、と記載されています。

**大泉委員長**

それでは、「4 著しく経営状況が悪化しているとはいえない団体」として評価いたします。他に、付帯的なご意見などはございますか。

**大泉委員長**

最後に、その他委員の皆様から何かございますか。  
特になければ、以上で本日の議事は終了いたします。進行を事務局に返します。

**事務局（総務局総務部行政経営課長）**

大泉委員長、委員の皆様ありがとうございました。報告書の案につきましては、先ほど委員長からご説明がありましたとおり、委員長と調整の上、事務局から皆様に送付させていただきますので、ご確認よろしく願いいたします。

それでは、以上を持ちまして、本日の委員会を終了いたします。お疲れ様でした。